

「YDC SONAR」導入のメリット

MERIT_01

- ノーコードで設定変更
テンプレート保存で
属人管理から脱却



可視化・解析手順をアイコンを並べる形のテンプレートとして自動で保存されるため、ドキュメント不要でだれでも保守運用が可能です。業務の属人化を防ぎます。

MERIT_02

- 大量のデータでも
間引かずに圧倒的な
高速描画を実現



独自ミドルウェアで大量データを取得し、グラフを高速描画します。間引処理によって重要な傾向を見落とすこともなく、今まで数分かかっていたグラフも数秒で描画が可能になります。

MERIT_03

- 製造業に特化した
レポートや帳票を
簡単に作成



特定のフォーマットに合わせた帳票を作成しなければならない場合でも、レポートから転記することなく、Excelテンプレートと紐づけるだけで帳票が作成できます。これにより転記にかかる作業を大幅に効率化、ミスを削減します。

MERIT_04

- 暗号化PDFで
データの改ざんを防止



権限の設定によって、変更できない暗号化PDFのみの出力制限が可能です。これによって意図しない、データの改ざんなどの危険性を防止できます。

MERIT_05

- トレーサビリティの
確立により
不良要因の特定が可能



ロットの分割や統合など、工程が進むにつれて管理体系や粒度が変化するデータを紐づけて整理することで、トレーサビリティを実現します。工程をまたいで不良品を追跡し、要因を特定することが可能です。

MERIT_06

- データに基づく
設備の予防保全を実現



JIS/WEルールに基づいた一般的な傾向の管理はもちろんのこと、AI機能をノーコードで活用することができます。その結果、いままですり知できなかった不良や設備故障を事前に検知することで、無駄な生産を行わないものづくりに寄与します。

データ活用ツールとの比較

	YDC SONAR	BIツール	統計解析ツール
データ収集・連携	○ 製造業向けETLツール +IoT連携機能もあり	△ ETLツールとの連携が必要 外部接続コネクタの種類が多い	× 基本的に他システムとの連携を 前提にしていない
データの前処理 (加工)	◎ モノの流れ、粒度をノーコードでデータ加工可能 操作手順を保存・共有できる	○ 粒度の異なるデータの扱いは 不得意	△ データ分析に特化しているため データ加工は不得意
見える化・分析	○ 製造現場での活用特化した 見える化が得意	◎ 汎用的なグラフと 表現豊かなレポート表示が充実	△ 業務に合わせた可視化が 難しい
処理速度	◎ IoTの大量データにも対応 データを間引かずグラフを高速表示(特許取得済)	△ データ量に依存 大量データの可視化では間引き	× 解析特化のため、その他データ取込み やグラフ表示は遅い
運用拡張性 (データ・機能)	○ ETL、DWH、BI機能が網羅されており、 ノーコードで処理できるため、追加や変更対応が容易	△ ETLやDWH機能は他ツールとの 組み合わせが必要	× 新たなデータを連携する場合は、 コーディングが発生
コスト	○ ETL、DWH、BI三位一体型として コストパフォーマンスを発揮	○ 製品によって安価なものもあり ただし他システムとの併用が前提	◎ 比較的安価 ただし機能は限定的

製造業データ活用基盤



プロセス製造も、ディスクリート製造も！
多様な製造形態が見える化し、改善に導く



製造業のデータ分析を熟知したワイ・ディ・シーが データ活用の仕組みづくりを徹底支援

ワイ・ディ・シーは製造業のお客様に多数の実績があります。モノづくりを熟知した担当者が仕組みを構築するため、工程が進むと発生する管理体系や粒度の変化を考慮した、一貫性のあるデータ管理が可能です。

「SONAR研究会」「活用相談会」で データ活用のノウハウ強化を支援

YDC SONARの先進的な活用を進めるユーザー企業が集結し、研究会や相談会を開催しています。実務経験に裏打ちされた知見、ノウハウを吸収することで、自社のデータ活用をさらに進化させることができます。

企業に、感動という付加価値を。
株式会社ワイ・ディ・シー

〒141-0032
東京都品川区大崎1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー
TEL : 03-5740-5762
E-Mail : advocacy-sales@ydc.co.jp
URL : https://www.ydc.co.jp



2024.04



プロセス製造、ディスクリート製造に対応 製造現場から生まれるデータを最大活用

YDC SONARは、製造現場で発生する膨大なデータを簡単に分析し、迅速な意思決定をサポートする戦略的な情報基盤です。

複数の工程にわたり、管理体系や粒度の異なるデータを運用負荷をかけることなく管理できます。

複数の工程・拠点で発生するデータを横断的に分析し、さまざまな課題解決につなげます。



YDC SONAR

データ収集・蓄積から可視化/分析までワンストップで対応
収集/蓄積/活用の三位一体型ツール

ETL

データ収集

DWH

データ蓄積

BI

データ分析



BI・ETL・DWHの「三位一体型ツール」で、シームレスな活用

BI、ETL、DWHを個別に導入すると、各ツールの設定が煩雑なだけでなくデータを有効活用するための高度なノウハウが必要でした。YDC SONARは情報基盤に必要なツールを包括的に提供。データの収集・蓄積から分析まで、簡単な設定でシームレスに活用できます。



製造・品質データの前処理や紐づけが簡単にでき、集計がスムーズに

ものづくりのデータ活用を長年支援してきたノウハウをもとにしたデータベース設計と様々な機能を実装。多くの製造業が直面するデータの管理体系や粒度が異なるデータの紐づけを容易にし、迅速な意思決定を実現します。

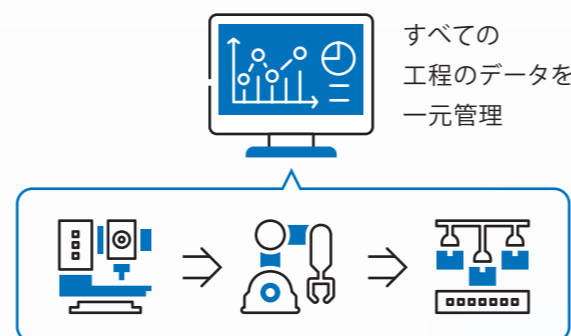
製造現場の課題を解決! 「YDC SONAR」ケーススタディ

CASE
01

工程や業務によって
管理されているデータがバラバラ。
不良把握や原因分析に
時間がかかる…



あらゆるデータを一元管理、
不良や生産の課題を
早期に発見できる



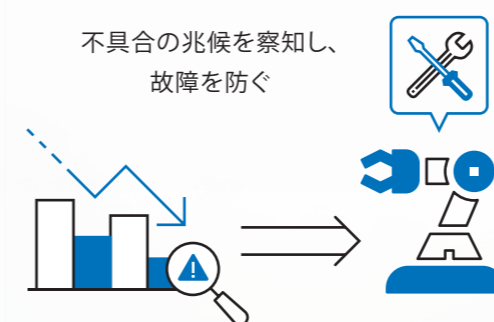
各種機器やクラウドサービスも含めた他システムとの連携により、データの所在を意識することなく一元管理が実現。工程間・システム間の差異を埋めるためのデータ加工機能も豊富なため、前処理に煩わされることなく、不良や生産の課題を早期に発見できるようになりました。

CASE
02

装置や製品の
故障・不良発生兆候を
把握できておらず、
発生後の対応になってしまう



予測機能を用いることで
「不良やトラブルが発生しない環境」
を構築



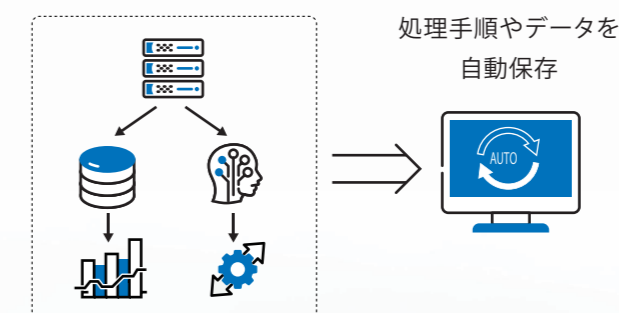
AI連携機能やSPC(統計的工程管理)機能を活用することで、「そもそも不良やトラブルが発生しない環境」を構築することができました。閾値内であっても複数点連続上昇といった複雑な傾向管理と通知設定が可能となったため、精度の高い予測ができています。

CASE
03

データからレポートまでの
データ処理の中身が
把握できず、信頼してよい
データかどうか判定できない



処理手順と各処理時のデータを
自動保存、どのような処理を
行ったかをいつでも確認できる



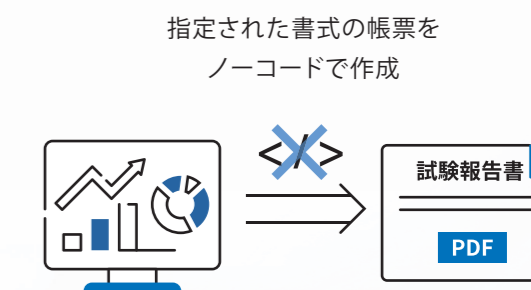
処理手順と各処理時のデータが自動保存されるため、どのデータに対してどのような加工がされたのか、後で追跡ができるようになりました。また変更できない暗号化PDFのみのレポート権限とすることで、改ざん防止につながる透明性の高いレポート業務ができています。

CASE
04

分析結果を報告書として
提出しなければならないが、
取引先指定の書式に
転記するのが煩雑



Excelの帳票フォーマットを
取り込むことで、指定の書式による
報告書をノーコードで作成可能



グラフや表を用いたレポートの作成はもちろん、Excelの帳票フォーマットを取り込みマッピングすることで、指定書式のレポートも簡単に作成できます。定型業務の効率化だけでなく、転記ミスなど人為的なミスも激減します。